

別紙1 サーバー調達仕様(電子カルテ系サーバー)

◆メインサーバー構成		
項目		要求事項
基本要件		サーバーは2台以上のN+1とし、H/A可能な仮想構成とする
ハイパーバイザー		障害等による縮退時でも各ゲストサーバーが安定し稼働できるよう十分なスペックを準備すること HCIとして構成し、別紙に定めるメイン系ゲストの項目に示す仮想マシンを稼働させる構成とする
プロセッサー		インテル社製Xeonプロセッサー・ファミリーとする コア数はメイン系ゲストのコア数総合計にハイパーバイザーとして2コア割り当てとする
メモリ		メイン系ゲストのメモリ総合計×仮想化オーバーヘッド1.2+ハイパーバイザー12GB以上とする
ネットワーク		ノード間通信はハイパーバイザーに合わせ最適な仕組みを提案すること
		上記とは別に、1000BASE-Tのインタフェースを合計8ポート以上有する、もしくはタグVLANを使用して下記ネットワークを分離する場合は10GBase-Tポートを2ポート以上有すること。
		2ポート 院内チーミング(仮想マシン、データベースサーバー専用)
		2ポート 院内チーミング(ホスト、仮想マシン共用)
リモート管理機能		1ポート 保守用(ホスト、仮想マシン共用)
仮想マシン共通設定		リモート コンソール機能や仮想電源ボタン、仮想DVDといったリモートからサーバーを制御・管理するための高度な機能を有すること
		ホストと連動させて仮想サーバーの起動・シャットダウンを実施できるようにすること
		仮想マシンがホストサーバーと時刻同期する設定については無効にすること
		容量固定とし、仮想ディスクのサイズと同じ容量の領域を、最初から物理ディスク上に確保すること
◆サブサーバー構成		
項目		要求事項
基本要件		サーバーは1台単独での仮想構成とする
ハイパーバイザー		別紙に定めるサブ系ゲストの項目に示す仮想マシンを稼働させる仮想基盤として構成すること
プロセッサー		インテル社製Xeonプロセッサー・ファミリーとする コア数はサブ系ゲストのコア数総合計にハイパーバイザーとして2コア割り当てとする
メモリ		サブ系ゲストのメモリ総合計×仮想化オーバーヘッド1.2+ハイパーバイザー8GB以上とする
ネットワーク		1000BASE-Tのインタフェースを合計8ポート以上有すること、もしくはタグVLANを使用して下記ネットワークを分離する場合は10GBase-Tポートを2ポート以上有すること。
		2ポート 院内チーミング(仮想マシン、データベースサーバー専用)
		2ポート 院内チーミング(ホスト、仮想マシン共用)
		1ポート 保守用(ホスト、仮想マシン共用)
リモート管理機能		1ポート 外部通信用
仮想マシン共通設定		リモート コンソール機能や仮想電源ボタン、仮想DVDといったリモートからサーバーを制御・管理するための高度な機能を有すること
		ホストと連動させて仮想サーバーの起動・シャットダウンを実施できるようにすること
		仮想マシンがホストサーバーと時刻同期する設定については無効にすること
		容量固定とし、仮想ディスクのサイズと同じ容量の領域を、最初から物理ディスク上に確保すること
◆バックアップサーバー構成		
項目		要求事項
基本要件		サーバーは1台構成とする
プロセッサー		8コア相当以上とする
メモリ		32GB以上とする
ストレージ		別紙に定めるバックアップサーバのディスク割り当てを参考にすること
ネットワーク		1000BASE-Tのインタフェースを合計4ポート以上有すること
		2ポート 院内チーミング
		1ポート 保守用
リモート管理機能		リモート コンソール機能や仮想電源ボタン、仮想DVDといったリモートからサーバーを制御・管理するための高度な機能を有すること
◆ソフトウェア式		
項目		要求事項
基本ソフトウェア	OS	Windows Serverライセンスの必要数量を用意すること
	CAL	デバイスCAL(当院にて準備)
	RDBMS	SQL Server Standard Coreとして必要数量を用意すること (SQL Server Standardで提案する場合は、端末台数500台分の1 DEVICE CALを用意すること)
Office		Excel 2式を用意すること(当院にて準備)
バックアップソフト		System Center Standard Core 2L 2022 を必要数量用意すること(ファイルサーバーメイン・サブ、データベースサーバーメイン・サブ分)
◆ネットワーク機器一式		
項目		要求事項
保守用ネットワーク		サービス用のLANとは別に、サーバー、外部ストレージ、バックアップ装置、及びUPSをリモートから管理するためのNWを構築すること
		サーバーラック内に24ポート以上のスイッチを設置し、各機器をLANケーブルで集約すること
		1本は保守用ルーターと接続し、保守用LANケーブルが23本以上の場合は48ポート以上とする。 LANケーブルは必要本数分用意、それぞれの機器に結線すること
◆その他共通要件		
項目		要求事項
サーバーラック		EIA 規格に準拠した19 インチラックであること
		サーバーラックの設置にあたっては、環境に応じた可能な限りの耐震対策を施すこと
コンソール		キーボード、マウス、モニターを1つ以上設置し、切り替え機等を使用して複数のサーバーで共用できること
無停電電源装置		停電時5 分間以上の電源機能を有し、サーバーを安全にシャットダウンするためのソフトウェアを備えていること
		サーバー及び周辺機器はUPSにて停電時の対策を実施すること
		停電からの復電時など、サーバーおよび周辺機器の自動起動や、周辺機器およびサーバーの役割により起動順序が設定できること
		専用ソフトウェアにて上記設定を行うこと
		ホットスワップバッテリーを備えていること
		上記要件の設定を実施すること
構築	外部機器	各機器を接続し、OS上からデバイスとして認識することを確認すること
	ドライバ・ファームウェア	できるだけ最新の安定したバージョンを提供すること
	ユーティリティ	ハード診断ソフト、UPS管理ソフトをインストールし正常動作することを確認すること
		メーカー独自ソフトに関しては、操作方法を説明すること
	WindowsUpdate	出荷前に最新の修正プログラムの適用し、更新設定は無効にすること
	Microsoft Defender	クライアント端末のOSが7、8、8.1の場合、ドメインコントロールラについては2023年5月までのセキュリティパッチを適用とする
	ハイパーバイザー	左記以外のアンチウイルスソフトをインストールする場合、サーバーパフォーマンスに影響が出るためDefender機能は無効にすること 仮想基盤を構築し、ゲストOSをインストールすること
保守サービス	データ消去	新サーバー稼働後現行サーバーが不要になったタイミングで、データ消去作業を実施すること 現行サーバに搭載のHDDIに対して、専用ツールを使用したデータ消去、または物理破壊を実施すること
	その他	本調達に含む機器については別途パラメータシートを通じて当社と協議の上、構築を行うこと
		サーバーは24時間 365日 4時間以内のオンサイト保守が 5年間 提供できること
		ハイパーバイザー部分については調達業者ににて保守を行うこと
		本調達に含む機器および、ハイパーバイザー部分については、24時間365日の障害監視または障害通報を行うこと 以上、要求仕様に係る構成を実現する上で、必要となる機器類をすべて用意すること